

第19号  
(令和元年  
8月)



# あいいく

～愛を育み、  
地域とともに  
子育て支援～

発行者  
社会福祉法人  
半田同胞園  
理事長  
北村 正信



<住所> 〒475-0846 愛知県半田市栄町2丁目22番地

HP <http://dohoen.jp/>

本部・母子生活支援施設 TEL 0569-21-0645 Fax 0569-31-0645  
保育所 TEL 0569-24-6645 Fax 0569-24-6654

### ◎「みらいてらす」

#### 半田同胞園分園の開園

理事長 北村 正信



日頃は社会福祉法人半田同胞園にご厚意と変わらぬご支援を賜り心より感謝申し上げます。

「平成」の時代最後となるこの4月に、半田同胞園の分園「みらいてらす」が無事開園いたしました。ここは、調乳室、沐浴室を備えた0歳児(ひよこ組)の保育室となっております。平成31年より0才児定員(分園にて)は、これまでより3名増員の18名、それに伴い本園では、1歳児定員10名増員の40名、2歳児定員は6名増員の42名となりました。少子化と言われるなか、核家族化やフルタイムでの就業等が増えて乳児期からの保育ニーズが高まり、それに応えるよう子育て支援を行ってまいります。

また、「みらいてらす」には母子生活支援施設児童の下校後支援や学習支援、自立のフォローのための場として「ならわの縁がわ」が併設されています。さらにこの場所が4月より、高齢者サロン・民生委員等の会議の場として利用していただいておりますが、今後益々増える地域福祉の活動の場として利用をすすめる、その名の示すよう地域に開かれた縁がわとなることを願っています。「みらいてらす」の開園に際しては、JAあいち知多様をはじめ多くの方々からの多大なるご支援を頂きましたことをこの場を

お借りしてお礼申し上げます。

### 「すべては、子どもたちの未来のために。」

未来のために。

1944年、母子寮から始まり、その後、母子生活支援施設と保育所の両輪で、地域とともに子育て支援の歩みを続けてきた半田同胞園は、令和の新しい年を迎えた今年、創立75年を迎えました。この記念すべき年に私たち半田同胞園は、自らの歴史を振り返りながら、その理念、その使命、その志の原点に立ち返り、新しいスローガン、新しいシンボルマークを制定しました。ただこれは決して新しい事を改めてお約束したわけではありません。これまでの法人の理念を利用者へ、そして私たち自身へも少しわかりやすくし、私たち半田同胞園の「覚悟」とここで過ごす子どもたちへの「想い」をこの言葉に込めました。

新しい「令和」の時代を迎え、より明るい未来を誰しも望んでいるでしょう。



「みらいてらす」 半田市昭和町3-50

子どもたちの未来をてらし、子どもたちの未来がより一層輝く時代となるようにこれからも半田同胞園は、本気の子育てを実践していきます。関係各位の皆様には今後ともご指導、ご協力を賜りますようお願いいたします。

### ◎ 半田同胞園保育所園長に就任して

保育所園長 水野 節



4月1日より園長に就任いたしました。保育園の現場で働くことは初めての経験ですが、毎日園児の元気な声を聞きながら楽しく勤めさせていただいています。

毎日の登園時や降園時に子どもたちと顔を合わせることで少しでも早く名前を覚えるよう努めているところです。歴代の園長始め職員のみなさんが積み上げてきた実績をさらに向上させるべき努力してまいります。半田同胞園保育所の活動の中で特徴的な、園外活動(散歩)やお泊まり保育、本物に触れるなどは、子どもたちの楽しみでもあり、継続して実施していきたいと考えています。

今年5月に滋賀県大津市の保育園児を巻き込んだ事故については、大変痛ましい事故であり、我々保育の仕事に関わる者としても、とても残念な事であります。各種報道でも保育園の責任を問う声はありませんが、今一度、園外保育について安全性の確認を行うなど職員一同、様々な見直しを行っているとところです。保護者のみなさま関係者のみなさまにもご理解いただきます。



半田同胞園保育所(保育所)

定員 280名(平成31年度より変更)

職員 園長1名・副園長1名・主査2名

保育士37名・保育補助4名・延長保

育士(補助含め)23名・調理員6名・

看護師1名・事務員1名

※平成31年4月1日現在

◎平成30年度「重点努力目標」の取組の成果と今後の課題について

保育所園長 水野 節

30年度の重点項目については29年度と同様の内容となっておりますが、毎年自身を充実させるよう職員で話し合いを行い、子どもたちの成長が感じられるよう取り組んでいくこととしています。

○保護者の協力のもと、早起き・早寝・朝ごはんの生活リズムを整えていく。

・29年度に続き、保護者の方にご協力をいただき、生活習慣を身につけるため「キラキラ週間」として取り組みました。その結果、乳児の当園時間、朝食の摂食等に効果が表れてきています。

○「柳沢運動プログラム」を「さくらさくらんぼリズム」を各年齢の発達に合わせて遊びの中で取り入れ、運動能力の発達を促す。

・0歳児から5歳児まで継続的に保育の中に取り入れて実践しています。年長児は「朝トレ」と称して室内の雑

巾がけや鉄棒のぶら下がりなどを行いその結果運動会の竹馬歩行で全員完歩することができました。

○園内・園外研修に積極的に参加し、保育の質の向上を図る。

・30年度は保育指針の改定もあり、園内研修として、指針の勉強会で5回のグループワークを実施しました。職員同士で保育について話し合うことにより、共通理解を得ることができました。

○防災教育の更なる充実を図り、子どもたちが安心して過ごせる環境作りを努める。

・現役消防士による研修会を4回実施し、職員の意識を高めることができました。また、定例的に防災訓練を実施し、子どもたちの災害時の避難時の行動もスムーズに行えるようになりました。

○子どもからも保護者からも信頼される保育士になる。

・保護者による保育所評価について、80%の達成基準を上回る90%以上が、22項目中15項目となりました。今後もさらに信頼を得るよう努めて参ります。

○元氣よく挨拶のできる子どもたちの育成を図る。

・職員が率先して挨拶を実践する事が重要と考え、子ども、保護者、来

訪者に対して積極的に挨拶を行っています。職員が意識することで園に活気が出てきました。

◎平成30年度の保育行事等



お泊り保育



避難訓練

○ちびっこ運動会(乳児の運動会)

保育士 新郷 リサ



初めて青山記念武道館で開催しました。各学年、絵本にちなんだ競技内容で親子楽しく参加することができました。

また、日ごろの保育の中で取り組んでいる「さくらさくらんぼリズム」も子どもたちの発達や体の動かし方の差を見ていただく会となりました。応援席には各クラスの絵を作り応援旗を飾り、明るい雰囲気の中、広い会場でのびのびと体を動かすことができました。



○食育について

保育士 神谷 智美



食育のスタートは食に関心を持つことです。昨年度は野菜の栽培やクッキング、焼き芋、餅つき、田植え、バター作りなどを行い、子どもたちは食べる楽しさを体験しました。また、皇學館大学の駒田聡子先生をお招きし、職員研修と保護者向け講演会を行いました。そこで学んだことを実践し、子どもたちの好ましい食習慣の形成をめざします。

○本物に触れる(柔道教室)

保育士 市田 透



保育所の大きな取り組みである本物保育。昨年度、世界チャンピオンを含む3名の柔道選手が来園しました。体幹等基礎を鍛えるトレーニングと一緒に、大迫力の組み手も披露してくださいました。柔道を習っている子は選手に挑戦!緊張の面持ちでしたが、見事に背負い投げを決めることができました。大きな経験となる1日でした。

◎今年度(令和元年度)に  
新しい仲間となった職員を紹介します



保育士 榎原みなみ

今年度よりお世話になります。2歳児「こあら組」の担任をさせて頂いた

大切に時間を過ごして、子どもたちの成長を間近で感じられることをとても嬉しく思います。いろいろな初めてのことにもドキドキワクワクしながら子どもと一緒に日々成長していきたいと思



保育士 石井 彩也香

私は、保育園に通っていた頃の大好きな先生に憧れてやつとこの春、保育士になりました。実際に働いてみて、子どもたちと過ごす楽しさと子どもたちを預かる責任感、子どもの成長に関わり、「できるようになる」ための配慮の大切さを毎日実感しています。日々子どもは成長し、保育室の環境や声掛け・援助、保護者との情報を共有する事が大きくなると感じました。この一年間、他の先生を見て学び、保育に活かして生きたいです。



保育士 榎原 菜々

私は、初めて乳児さんを担当させて頂いたことになりました。一人ひとりと丁寧にかかわっていき、子どもたちが安心して保育園に来られるようにしていきたいと思

と丁寧にかかわっていき、子どもたちが安心して保育園に来られるようにしていきたいと思



保育士 種田 佳純

学校では学ぶことのできなかつた子ども一人ひとりに寄り添い、成長を肌で感じられるような保育士になりたいです。半田同胞園保育所にはさくらんぼリズムやびよんびよん村など、子どもと一緒に身体を動かして遊ぶ機会がたくさんあるので、子どもと一緒に私も成長していきたいと思

0歳児ひよこ組の担任になり初めてのオムツ替え、初めてのミルク作りなど沢山のことを学び日々成長していけるようがんばりたいです。



保育士 日高 美保

同胞園に以前も勤めていましたが、一度離れて違う園で働きました。やはり同胞園での保育にやりがいを感じ、再び今年度から働かせていただくことになりました。まだまだ先輩方から学ぶことはたくさんあると思

見つけ、他の園で学んだ経験を生かして、子どもたちと笑顔でかわっていき



保育士 柴田 能

子どもたちが半田同胞園保育所に通わせていただいているご縁もあり今年からこちらで働くことになりました。子育てで保育を離れていた時間が長いので、新人に戻ったつもりで、クラスの子とも一緒に成長して行ければと思

たちを見守っていきけるような保育ができるように頑張りたいと思



調理員 舞田 愛子

私は昨年の9月から給食室で働いています。半年になりましたが、まだまだ毎日勉強することばかりです。特に、アレルギー

食については気が抜けず一人ひとりの対応を徹底的にしないと大きな事故につながる可能性があります。そんなことが起きないように気を抜かず取り組んでいきたいです。そして顔を見て、給食おいしかったよと言ってくれる園児たちが、もつとおいしくより楽しめるような給食を提供できるようにしたいと思



調理員 間瀬 智子

私はこの4月から調理員として働いています。



調理員という仕事は経験がなく不安でしたが、先輩方の親切で丁寧な指導のおかげで楽しく働いています。調理員という仕事でも子どもとの関わりはとても楽しく癒されます。新しく入ったばかりの私に、子どもの方から「給食さくくん！今日の給食おいしかったよ！」と声をかけてくれる事があり、とても励みになります。この子どもたちもつと給食が楽しみになるよう、日々努力していきます。お願いします。

◎ 大空会(保護者会)の活動の様子  
「一年間を振り返って」

平成30年度会長 村松 由之



半田同胞園保育所には、三人の子どもたちがお世話になり、十年間の半田同胞園生活でした。歴代の大空会会長からの薦め

もあり、会長を勤めさせていただきました。十年目の半田同胞園でも、大空会実行部として活動するのは、初めてのことでしたので、なかなか簡単にはいきませんでした。しかし「すべては子どもたちのために！」という青木園長の言葉を胸に、大空会実行部として前向きに活動ができました。

実行部発足後の、初めてのイベント夏祭りは、みんないろいろな準備を進めて



「大空会よりのご寄付」  
平成30年度大空会様より、園児のために乳児用ロッカー1台・避難カー1台を購入させて頂き、ありがとうございます。子どもたちのために大切に使用させて頂きます。

◆令和元年度大空会会長は「光永真弓さん」に決定いたしました。一年間よろしくお願いいたします。

さて、令和元年度の大空会会長には、女性が就任する事になりました。母の目線で子どもたちのために活躍してくださる事と思います。半田同胞園保育所、大空会を地域から見守っていきたいと思います。

きましたので、猛暑のための中止は、苦渋の決断でした。運動会の大空会リレーでは、先生方、大空会員の活躍で、楽しい競技ができました。園展の大空会ブースへの参加と協力、成岩四区資源回収、園内資源回収におきましては、多くのみなさんにご協力いただき、収益も得ることができました。そのお陰で、卒園イベントでは、子どもたちに素晴らしいごま芸をプレゼントすることができました。これも、大空会の活動にご理解ご協力、ご支援いただいた、先生方、地域の方々、大空会員皆様のおかげです。本当にありがとうございます。

◎ 半田同胞園保育所内での特別保育事業実績

- ・ 延長保育事業 月平均 2,212人 (日平均 早朝 33人、延長 91人)
- ・ 一時保育事業 年間延 1,463人
- ・ 園庭開放(毎週月曜日) 363組 816人
- ・ 子育てサロン(毎月2・3・4の月曜日) 子育ての民生・児童委員さんのボランティアによるびよんびよん村、ふれあい広場(同胞園ホール) 199組 380人

◎ 退任のあいさつ

元保育所長 青木 誠



毎朝、大門で子どもたちを迎えることから始まる一日。元気に走ってきてハイタッチする子、お母さんに抱かれて「ママがいー」と泣く子らを見続けてきましたが、充実した園生活を送る中で子どもたちが目まぐるしく成長し、たくましくなっていく姿を見ることは、私にとって大きな喜びでありました。

退任するにあたり、お世話になりましたご父母のみなさまに感謝申し上げますとともに、一緒に泣いたり、笑ったりして子どもたちの「笑顔」を見るためにともに努力してきた保育士のみなさん心より感謝いたします。ありがとうございます。今後も半田同胞園の一ファンとして益々のご発展を願っております。

子育て支援事業(半田市委託) (半田市市民交流センターでの実施)

平成18年度から、子育て支援センター内で、乳幼児一時預かり事業及び親子で遊ぶプレイランドの実施。12年目の委託。職員 子育て指導員11名

※平成31年4月1日現在

◎ 子育て支援事業

0歳・1歳のハイハイや歩き始めの子が多く、歩く練習をする姿をよく見る事ができ、歩けるようになってきた時は、親と共に喜びを共感することができ嬉しく思います。

毎年のように8月までと3月はトイレットレーシング、1年を通して入園についての相談が多く、また0歳、1歳の子どもが多かった為か、昼寝や夜起きてしまうなどの睡眠の相談も多かったです。



◎ 幼児一時預かり事業

以前に比べ仕事での利用よりもリフレッシュの利用が多いです。その中でも双子の利用も多くなり気軽にリフレッシュで利用してもらえることが嬉しく思います。

時代と共に少しずつ親がゆとりをもつて向きあえているので、今後も無理なく自分のペースで育児がしてもらえたいと思います。私たちは後押しをしていきたいと思っています。

◎ 子育て支援事業及び乳幼児一時預かり事業の実績状況

・ プレイランド利用者数  
・ レッツトライ1・2・3利用者数  
・ リズムで遊ぶ利用者数  
・ みんなで遊ぶ利用者数  
・ 相談件数  
・ 乳幼児一時預かり利用者数 (左表に各月の利用者数を掲載してあります)

区分(単位)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
プレイランド利用者数(人)	2,995	3,145	3,646	4,208	4,125	4,012	3,389	3,264	3,137	2,681	3,260	4,046	41,908
レッツトライ1・2・3参加者数(組/人)	40 91	27 55	43 89	26 55	44 99	警報発令のため中止	38 81	38 82	37 80	17 38	43 95	43 97	396 862
リズムで遊ぶ参加者数(組/人)	31 61	29 61	37 70	51 111	34 69	28 60	27 58	41 86	28 58	23 49	36 75	25 55	390 813
みんなで遊ぶ参加者数(組/人)	20 43	32 69	35 73	47 104	74 180	33 72	75 157	28 62	74 160	17 37	40 90	47 100	522 1,147
相談件数(件)	26	28	39	36	36	34	35	26	32	32	21	28	373
乳幼児一時預かり利用者数(人)	181	106	129	136	138	133	142	158	165	135	169	183	1,775
延べ時間数(時間)	613	356.5	473.5	493	512.5	473	501	563.5	622	537.5	580	669	6,394.5

半田同胞園(母子生活支援施設)

20世帯(サテライト5世帯)

**職員** 施設長1名、主査1名、被虐待児個別対応職員1名、母子支援員2名、サテライト母子支援員1名、少年指導員3名、心理担当職員1名、事務員2名、特別指導員1名、母子自立支援員1名、サテライト補助員2名、嘱託医1名 計17名

※平成31年4月1日現在



平成30年度母子生活支援施設事業  
報告 施設長 鷲野林平

平成30年度の重点努力目標についての取組結果を報告します。

○全体テーマ

・「新しい社会的養育ビジョン」を踏まえた今後の進め方として、「都道府県社会的養育推進計画」の策定が検討されており、母子生活支援施設の活用や周知を、いかにこの「計画」に盛り込むかが問われています。年度途中、愛知県の方針として、計画策定の「検討の場」への母子生活支援施設関係者の参画は考えていない状況でありましたが、年度末に愛知県担当職員2名がヒアリングのために来園し、県下の母子生活支援施設の現状等を伝えることができました。今後、児童養護施設、乳児院等の社会的養育関係施設

と連絡調整をし、母子生活支援施設の「現場の声」を届ける手段を考えていきます。

また、計画策定の「検討の場」に「現場の声」を届けるために、職員全体として、「新しい社会的養育ビジョン」の内容について把握、理解する機会が必要であり、特定妊婦の受入れ等、新たな事業を展開することができるといえる。かような検討が必要となります。

○利用者支援

・「運営ハンドブック」を読み直し、基本的な支援のあり方については理解し、利用者と同じ目線で問題解決に取り組むことができたと思われれます。今後も、より個別な関わりをするために、関係機関との連携を図りながら、専門性を活かした支援に取り組んでいきます。

○職員育成・連携

・新人職員(少年指導員)の育成について、児童への関わりに関する心構え、具体的な業務については主査が新人職員を含む、少年指導員全員に指導する機会を数回設けることができました。今後も、母子支援員等、他職種との、よりよい関係性を保つために話し合い等の場を増やすことが必要であると思われれます。

半田市や社会福祉協議会が所管する各種会議へ、主査、被虐待児個別対応職員等が参画し、国の動き、地域の実情等、幅広い情報、知識を

得ることができました。さらに、他の関係機関の職員との交流もでき、その中から協働で事業を展開することもできました。

児童養護施設等職員処遇改善における、スキルアップ研修については、該当職員が受講することができました。今後も該当職員がいる場合には受講の機会を設けていきたいです。

○一時保護及び地域支援

・一時保育事業については県女性相談センターと委託契約を結び、事業実施ができました。

子育て短期支援事業については、半田市、知多市、常滑市、東浦町、刈谷市と委託契約を結んでいましたが、実際の利用は半田市のみでありました。刈谷市からは何度か相談がありましたが利用には結びつきませんでした。理由は、施設利用者の未措置児童の保育対応等によつて、受入れができなかったためです。今後、母子生活支援施設における保育の体制、機能等の見直しの検討が必要であると思われれます。

・地域支援については、「高齢者サロン」は9月から週2回の開催とし、地域の高齢者の外出の機会、居場所を増やすことができました。

令和元年度に開所のみらいてらす内「ならわの縁がわ」の有効活用については、事前に関係機関と打ち合わせをし、準備をすすめることができました。

○入所状況・行事等

・本体施設の入所状況は、月平均約18世帯、児童数は月平均約31人(乳幼児14人、学童等17人)、また、小規模分園型(サテライト型施設)の入所状況は月平均約4世帯、児童数は月平均約12人(乳幼児2人、学童等10人)でした。新規入所世帯は9世帯で、入所理由は様々です。退所世帯も9世帯(本体施設から7世帯、小規模分園型(サテライト型施設)からは2世帯)でした。退所理由は様々な問題が解決でき、日常生活・身辺・精神的な自立の見込みが立ったためがほとんどです。

・緊急一時保護の受入れは3世帯で昨年よりは少なかったです。延べ利用日数は51日で、保護期間は昨年同様長期化傾向でした。近隣市(半田市・知多市・常滑市・東浦町・刈谷市)から受託事業としての子育て短期支援事業は4件の受入れをし、出産後、生活の拠点がなく、次の住まいが見つかるまでの利用、両親の仕事の研修、母の休養の支援をしました。

・母親の就労支援や育児支援の一環としての補完保育等は、延べ577件でした。内訳は待機児童保育が一番多く391件、次に、補完保育が89件、次に祝日保育が86件の順となっています。入所世帯に乳幼児が多く、年齢によつては当法人保育所、近隣保育所の定員がいっぱいで待機児童保育が多くありました。平成31年4月からは、当法人保育所の0歳・1歳・2歳の定

員を増やすことで待機児童解消ができればと願っています。

・行事については、全体行事として、「親子スポーツ大会」、「親子遠足」、「年忘れ会」、「新年会」、「節分会」、「退所者同窓会」。母親行事として、「カルチャースクール(書道教室、料理教室、手芸教室)」、あつたかハウスのみなさんの協力を得、自分の人生について考える機会としての「キャリアアトランプ」、「怒りのコントロール」をどのようにするかを学ぶ「社会適応アップセミナー」を開催しました。



親子スポーツ大会  
デカパンリレー



年忘れ会  
ハンドベル演奏



節分会  
やさしい鬼?と  
記念撮影

・教養講座として、「なのはな会」の方々の指導を受け、「しめ縄作り」を実施しました。乳幼児行事として、季節感を大切にしながらの「七夕会」、「ひな祭り

ぞれ母子で記念撮影をしました。



書道教室  
集中して...!



しめ縄作り  
悪戦苦闘!?



ハロウィン  
ひな祭り  
つり大会  
ハゼ釣れた!



・児童行事として、自然にふれあうための「つり大会」、「キャンプ」等を開催しました。JAボランティアの皆さんの協力を得、ならわの街の散策をしました。それぞれの行事において、母も子も楽しいひと時を過ごすことができました。ご協力いただいたみなさま本当にありがとうございました。

・また、将来、福祉関係職員、保育士等を目指す大学生・短期大学生等

の実習の受け入れは、施設として人材育成、社会貢献の一環でもあると考え、例年通り、積極的に取り組むことができ年間を通して25名の受け入れをしました。また、夏休み期間中には、社会福祉法人中部善意銀行からの紹介で11名の受け入れをしました。

・行事、イベント等にJA職員のみならずははじめ、日本福祉大学、名古屋短期大学等の学生のみならずのご参加、協力をいただき、地域のみならずとの交流を深めることができました。また国際交流ボランティアクラブポレのみなさんの協力を得、開催している「日本語教室」も定着してきており、外国籍のお母さんが日本語のみならず、日本の文化・風習についても教えていただいております。今年度は特に、施設へ入所する前の面接時の「しおり」の外国語版英語、ポルトガル語、タガログ語の作成もしていただきました。

・最後に、地域のみならずから衣類、書籍、食料品、お菓子等、たくさんの方の寄付をいただいております。また、ミュージカル等への招待もいただきました。施設で生活する母と子はとても喜んでいました。本当にありがとうございます。今後もご支援、ご協力いただけますようお願いいたします。

社会福祉法人 半田同胞園(法人)

◎ 春の叙勲・褒章に輝く

★瑞宝単光章 受章★  
評議員 杉浦 勝子 様



令和元年「春の叙勲・褒章」で、児童福祉功労により瑞宝単光章を受章されました。

杉浦勝子氏は、当法人の保育所保育士、また母子生活支援施設の母子支援員を永年勤められました。昭和63年より母子生活支援施設施設長として、暫定定員の解消のための施設設備の充実や小規模分園の設置等を積極的に行い、母子生活支援施設改築にも大変なご尽力をされました。誰にでも親身に対応していただき、現在も杉浦先生を慕う利用者や職員も沢山お見えになります。当法人にとって大きな誇りであり、その功績に敬意を表し、お祝い申し上げます。

◎ 役員等紹介

※令和元年6月21日現在  
役員(理事6名・監事2名)

【顧問】 水野 八洲男  
【理事】(理事長) 北村正信

水野源次・宍戸洋子・  
手島寿宏・犬塚 清  
水野 節

※水野 節 令和元年6月21日就任

※青木 誠 令和元年6月21日退任  
【監事】近藤敏通・二宮公平  
◆監事監査 平成30年5月30日実施

評議員(7名)

酒井なつ江・杉浦勝子・鈴木一郎・向井克子・高木勝弘・小坂和正・市野忠幸

※小坂和正 平成30年7月1日就任

※市野忠幸 平成31年4月9日就任

※水野 節 平成30年6月30日退任

※永田創一 平成31年3月31日退任

評議員選任・解任委員(3名)

杉江道城・二宮公平・鷲野林平

◆選任解任委員会 平成30年6月28日開催

第三者委員(2名)

酒井宏造・加来昭子

※加来昭子 令和元年6月21日就任

※澤田圭造 令和元年6月21日退任

◆第三者委員会 平成30年7月28日開催

評議員会の状況(年2回)及び議題

定時 平成30年6月22日

第1回 平成29年度法人計算書類等案

第1回 平成30年11月17日

一、平成30年度上半期事業報告等報告事項のみ

理事会の状況(年7回)及び議題

第1回 平成30年6月8日

一、平成29年度法人事業報告案 二、平成29年度計算書類案 三、定時評議員会の招集案 四、第一期評議員退任及び補欠選任候補者推薦案

臨時第1回 平成30年7月6日

一、保育所分園等新築工事の工事業者選定方法及び入札案 二、平成30年度法人資金収支補正予算案(第1次)

臨時第2回 平成30年7月31日

一、保育所分園等新築工事の指名競争入札の業者選定案

臨時第3回 平成30年8月28日

一、保育所分園等新築工事の工事業者決定及び契約内容案 二、法人就業規則の一部改正案

第2回 平成30年10月19日

一、平成30年度 法人資金収支補正予算案(第2次) 二、平成31年度 保育所長の任免案

第3回 平成31年2月22日

一、法人理念実現のためのブランディング案 二、分園等建物の名称及びビロガンやシンボルマーク案 三、平成30年度法人資金収支補正予算案(第3次) 四、第一期評議員一名退任承認案

第4回 平成31年3月28日

一、法人給与規程の一部改正案 二、平成30年度法人資金収支補正予算案(第4次) 三、平成31年度法人事業計画案 四、平成31年度法人資金収支予算案 五、保育所運営規程一部改正案 六、第一期評議員一名退任による補欠候補者の選任承認案

職員採用・退職状況

◎ 非常勤採用

退職 (平成30年度末)

保育所 保育所長 青木 誠・保育士 中野真衣・※石川由華・榊原百々花・延長保育士・※片山千恵・延長保育補助 ※伊賀静恵、(年度途中退職)

調理員等 高木絢菜・看護師 ※滝澤牧子・延長保育士 ※進藤ひろ美・延長保育補助 ※竹内啓子・※梅本莉沙・子育て指導員 ※風間裕子

採用 (平成31年4月1日)

保育所 保育所園長 水野 節(正式採用) 保育士 花原恭子・肥田美咲・榊原みなみ・石井彩也香・榊原菜々・種田佳純・※日高美保・※柴田能・保育補助 ※伊藤仁美・調理員等 舞田愛子・※間瀬智子・延長保育補助 ※山田紗希・山脇容子

昇格 (平成31年4月1日)

保育所 副園長 石川正栄  
保育所 保育士 ※深田真由美・保育補助 ※柏原つぐみ・看護師 ※竹田陽子・延長保育士 ※蛭川万里子・延長保育補助 ※榊原良佳・光永真弓・小池全子・山田雅子・佐藤 茜

昇格 (平成31年4月1日)

保育所 副園長 石川正栄  
本部事務局 主査 木下和博

寄附

法人

坂文種報徳会様(金40万円)、株式会社ファミリ様(金41.44万円)、チャイルドスポーツ様(金10万円)、小林正浩様(金1万円)

母子生活支援施設

◆義援金: 社会福祉法人愛知県共同募金会・報道機関7社様(金10万5千円)

◆現金: 竹内廣治様(金1万円)、畔柳貴一様(金7万円)

◆食料品等: 市野利春様(野菜多数)、坂本直樹様(チョコレート菓子25個)、西成岩地区同年会様(焼きそば麵170食分)、丸山清孝様(米40kg)、おいしい村様(お好み焼き35枚、肉まん7個)、澤田達宏様(米90kg)、株式会社さんわこーポレーション様(鶏肉7kg)、竹内慧太様(自家製はちみつ)、名糖産業株式会社様(チョコレート)39個、真金正幸様(お菓子)、社会福祉法人中部善意銀行様(食品セット全世帯分)、ハッピーサント実行委員会様(お菓子セット)、杉浦秀則様(全世帯へみかん1箱、バナナ)、村上直弥様(キャベツ50個)、カーブス半田青山・半田住吉店様(食材多数)、有限会社登喜宮様(全世帯に夕食64食)、観音屋様(豆腐、厚揚げ多数)、高橋直紹様(お菓子多数)

◆日用品: 衣料品等: 有限会社カシミツ様(衣類等)、萩原ひとみ様(ノート・ボールペン多数)、小木曾浅子様(日用雑貨)、酒井宏造様(ガチャガチャ景品多数)、佐竹晴美様(衣類等)、加藤康





③平成30年度県共同募金配分金  
行事撮影用カメラ1台、ビデオカメラ1台

◎愛知県共同募金会様をとおしてご寄付いただきました。  
ありがとうございます。  
・日立3ツアーチャンピオンシップ2017様  
①《ゲーム(太鼓の達人)・液晶テレビ各1台》  
・CBCチャリティー募金「こどもにぴた たっ!」様  
②《災害用手回しラジオオ27台、LEDランタン10台・乾電池128本》

◆その他：日産労連NP0センター「ゆうらいふ21」様《第43回クリスマスチャリティー公演招待》、末日聖徒イエスキリスト教会刈谷ワード様《クリスマス慰問》  
◆分園の完成を祝い、JAあいち知多様より地域貢献活動の一環として、分園への給食の運搬のために寄贈していただきました。「子どもたちの食の安全のために」、毎日大切に活用させて頂きます。



◎あいち知多農業協同組合様より軽トラック(保冷車)1台寄贈  
◆30年度大空会様よりのご寄付：《金20万円 保育用品購入資金として》《金5万円 分園建設を祝金として》《金10万円 メール配信システム費用補助として》《金17万円 進級帽子代として》  
◆物品等：尾張製煎合資会社 榊原 総一郎様《麦茶1ケース相当》、松井 幸夫様《電動かき氷機・ホワイトボード2枚・台車1台・コーヒーマーカー1台》

◎苦情への対応について(30年度)母子生活支援施設 件数 18件  
◎苦情の対象別件数

① 利用者間	12件
② 職員	5件
③ その他	1件
保育所	4件

※苦情の詳細については、法人のホームページにて

平成 30 年度の法人の経営状況(総括表)

1. 法人単位の資金収支の状況 第一号の一様式

(自)平成30年4月1日(至)平成31年3月31日

項目	金額(千円)
(1)事業活動資金収支差額	8,277
①事業活動収入	381,823
・児童福祉事業収入	102,222
・保育事業収入	272,264
・太陽光発電用土地賃借事業収入	200
・借入金利息補助金収入	21
・経常経費寄付金収入	1,412
・受取利息配当金収入	15
・その他の収入	5,689
②事業活動支出	373,546
・人件費支出	319,694
・事業費支出	34,750
・事務費支出	19,025
・支払利息支出	77
(2)施設整備等資金収支差額	▲31,958
①施設整備等収入	31,846
・施設整備等補助金収入	1,846
・設備資金借入金収入	30,000
②施設整備等支出	63,804
・設備資金借入金元金償還支出	4,656
・固定資産取得支出	59,148
(3)その他の活動資金収支差額	11,450
①その他の活動収入	14,953
・長期運営資金借入金収入	2,953
・積立資産取崩収入	12,000
②その他の活動支出	3,503
・積立資産支出	2,651
・積立資産支出	852
当期末資金収支差額	▲12,231
前期末支払資金残高	40,918
当期末支払資金残高	28,687

2. 法人単位の事業活動の状況 第二号の一様式

(自)平成30年4月1日(至)平成31年3月31日

項目	金額(千円)
(1)サービス活動増減差額	▲12,548
①サービス活動収益	376,627
・児童福祉事業収益	102,222
・保育事業収益	272,264
・太陽光発電用土地賃借事業収益	200
・経常経費寄付金収益	1,412
・その他の収益	529
②サービス活動費用	389,175
・人件費	327,413
・事業費	34,749
・事務費	19,024
・減価償却費	19,673
・国庫補助金等特別積立金取崩額	▲11,725
・その他の費用	41
(2)サービス活動外増減差額	5,648
①サービス活動外収益	5,725
・借入金利息補助金収益	21
・受取利息配当金収益	15
・その他のサービス活動外収益	5,689
②サービス活動外費用	77
・支払利息	77
経常増減差額	▲6,900
(3)特別増減差額	369
①特別収益	3,061
・施設整備等補助金収益	1,846
・施設整備等寄付金収益	1,215
②特別費用	2,692
・国庫補助金等特別積立金積立額	1,846
・その他の特別損失	846
当期活動増減差額	▲6,531
前期繰越活動増減差額	139,467
当期末繰越活動増減差額	132,936
その他の積立金取崩額	12,000
その他の積立金積立額	1
次期繰越活動増減差額	144,935

3. 法人単位の資産等の状況 第三号の一様式

平成31年3月31日現在

項目	金額(千円)
(1)資産の部	788,660
①流動資産	68,720
・現金預金	51,115
・事業未収金	8,236
・未収補助金	7,538
・前払金	1,831
②固定資産	719,940
・基本財産	591,937
・土地	32,940
・建物	558,997
・その他の固定資産	128,003
・建物	6,145
・構築物	7,267
・機械及び装置	52
・車両運搬具	1,743
・器具及び備品	7,223
・ソフトウェア	1,160
・退職給付引当資産	21,979
・施設繰越積立資産	56,255
・施設・設備整備積立資産	25,411
・差入保証金	750
・長期前払費用	18
(2)負債の部	177,430
①流動負債	63,780
・事業未払金	32,958
・1年以内返済予定設備資金借入金	5,628
・預り金	49
・職員預り金	7,024
・前受収益	3
・賞与引当金	18,118
②固定負債	113,650
・設備資金借入金	82,960
・長期運営資金借入金	8,211
・退職給付引当金	21,979
・長期預り金	500
(3)純資産の部	611,230
・基本金	29,503
・国庫補助金等特別積立金	355,128
・その他の積立金	81,664
・次期繰越活動増減差額	144,935
(うち当期活動増減差額)	▲6,531
(2)(3)負債及び純資産の部合計	788,660

※詳しくは、社会福祉法人半田同胞園ホームページを参照ください。 <http://dohoen.jp/>